

臨時記者会見

日時： 令和6年10月31日（木） 11:00～12:00
場所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

1. 山形大学における新たな教育学部の構想

～地域のイノベーション人材を育てられる教員の養成～

学 長

理事・副学長（教育担当）

地域教育文化学部長

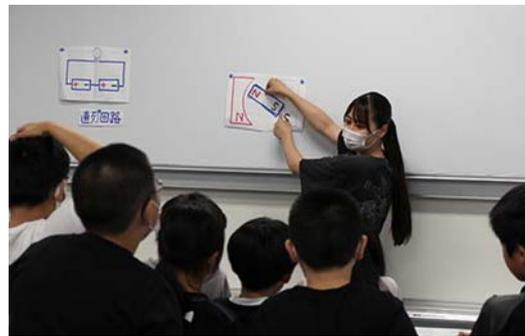
たまた	ひでとし
玉手	英利
でぐち	たけし
出口	毅
なかにし	まさき
中西	正樹

令和6年（2024年）10月31日

山形大学における新たな教育学部の構想 ～地域のイノベーション人材を育てられる教員の養成～

【本件のポイント】

- 令和8年4月から、今後の地域の社会経済等を担う人材を育成できる教員の養成、当面の間の高い教員需要への対応、子供の多様な課題に対応できる教員の養成に向けて、地域教育文化学部を教育学部に改組する構想を検討中
- 教員養成に特化した学部の設置は、21年ぶりとなる
- 新教育学部の特色の一つとして、理数系、データサイエンス、地域協働等に強い教員の輩出を目指す



【概要】

山形大学は、平成17年度（2005年度）に教育学部から地域教育文化学部へ改組し、総合性・実践性・地域性を備えた教員を養成するとともに、地域と連携した教員養成体制を継続してきました。

一方、近年、地域の社会経済の変化・人口減少、子供の多様な課題に対応できる教員養成の必要性、高い教員採用者数への対応、社会に開かれた教育課程・学校教育と地域との協働の推進等が求められております。

そこで本学は、山形県をはじめ、教育関係諸団体との意見交換を重ね、このような課題に対応できる教員を養成していくため、令和8年度（2026年度）から教育学部へ改組する構想を検討しました。現在の高校生・保護者の皆様には進路選択で影響が大きいものと考え、今般、本構想を公表いたします。なお、本学での教員養成に特化した学部の設置は、21年ぶりとなります。

【設置構想】（予定）

教育組織名及び入学定員：

- 教育学部 165名
 - ◇学校教育教員養成課程 120名
 - ・小学校教員養成コース 主に小学校教員を目指す
 - ・中学校教員養成コース 主に中学校、高等学校教員を目指す
 - ・小中理数系教員養成コース 主に小学校（理科専科担当）、中学校・高等学校の理数系教科担当の教員を目指す
 - ◇地域教育共創課程(仮称) 45名 主に学校を支援できる人材として、
 - ・臨床心理の学修のコース 心理関係の専門家を目指す
 - ・スポーツや食の学修のコース スポーツや食を通じた地域支援の専門家を目指す

取得可能な免許：

- ・幼稚園教諭一種免許状
 - ・小学校教諭一種免許状
 - ・中学校教諭一種免許状（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、英語）
 - ・高等学校教諭一種免許状（国語、地理歴史、数学、理科、音楽、美術、保健体育、英語）
- ※上記に加え、高等学校教諭一種免許状（公民、情報）の開設を目指す。

設置時期：令和8年4月

特 色：

- ・地域の教員の量的ニーズ、小中学校の小規模化・小中一貫教育の増加に対応した教員養成、複数免許取得奨励
- ・総合大学としての強みを活かし、地域の学校教育が求める理数系、データサイエンス、地域協働等に強い教員の輩出
- ・地域教育文化学部で培った成果を地域が求める共創人材の育成で活用し、実践的カリキュラムを構築

※上記設置構想は、文部科学省と協議中のものであり未確定です。今後さらに協議を重ねて具体化を図り、来年度に文部科学省 大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

お問い合わせ

企画・戦略室長 内藤

TEL 023-628-4190 メール yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学における 新たな教育学部の構想

～地域のイノベーション人材を育てられる教員の養成～

国立大学法人山形大学

<留意事項>

本構想は、文部科学省と協議中のものであり未確定です。今後さらに協議を重ねて具体化を図り、来年度に文部科学省 大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

社会的な背景等

地域の社会経済の変化

- 東北地方の急激な少子化を見据え、人口減、少子化となった社会においても社会経済活動を一定維持し、地域の豊かさを追求
- 山形県全体での新たな視点での成長、イノベーションや生産性向上を担う意欲や資質能力を持った人材の育成と確保
- 小学校段階からの学校教育の改変、充実のため、教職への高い意欲と質の高い教育活動を行える力を有する教員の養成

子供の多様な課題への対応

- 子供の様相や学校教育の複雑化・多様化に対応した教員に対する専門職業人としての資質能力
 - 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を確実に育成できる力
 - 教科横断での文理融合的な取組、情報機器を活用した学び等の教育内容・方法の変化に対応した指導力
 - いじめや不登校をはじめとする生徒指導や学級経営を適切に行う力
 - 発達障害等の児童生徒への特別な支援、外国人児童生徒への対応 等

当面の高い教員需要

- 小学校、中学校の高い教員需要(教員採用者数)に対して、志願状況は低い数値が継続



新たな地域コミュニティ創生

- 学習指導要領「社会に開かれた教育課程」の標榜、社会環境や地域コミュニティの変化により、コミュニティ・スクールや学校支援地域本部の取組み等、学校と地域が連携した教育の有用性が認識
- R6文部科学省「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」採択。地域と連携した教員養成の強みを活かす

教員養成の充実により質・量ともに貢献

教育学部の設置構想（概要）

教育組織名及び入学定員：

○教育学部 165名

◇学校教育教員養成課程 120名

- ・小学校教員養成コース
- ・中学校教員養成コース
- ・小中理数系教員養成コース

主に小学校教員を目指す

主に中学校、高等学校教員を目指す

主に小学校(理科専科担当)、中学校・高等学校の理数系教科担当の教員を目指す

◇地域教育共創課程(仮称) 45名

- ・臨床心理の学修のコース
- ・スポーツや食の学修のコース

主に学校を支援できる人材として、

心理関係の専門家を目指す

スポーツや食を通じた地域支援の専門家を目指す

取得可能な免許：

- ・ 幼稚園教諭一種免許状
- ・ 小学校教諭一種免許状
- ・ 中学校教諭一種免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、英語)
- ・ 高等学校教諭一種免許状(国語、地理歴史、数学、理科、音楽、美術、保健体育、英語)

※上記に加え、高等学校教諭一種免許状(公民、情報)の開設を目指す

設置時期：令和8年4月

養成する人材像

山形県教育委員会の定める教員育成指標、本学が培ってきた教育研究成果、山形県等の学校現場で課題とされる事項等を踏まえつつ、今後の山形県等における学校教育で主導的な役割を発揮するとともに、教職大学院での学修により高度専門職業人としての力を獲得するための基礎的な資質能力を育成します。

高等学校段階までの学習により広く基礎力を有する(大学共通テストにて基礎学力を評価)ことを基本として、各学校種、各教科担当の教員として

- ① 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力
- ② 教職や教科に関する高度な専門的知識、教科や生徒指導や学級経営等を的確に実践指導する力
- ③ 子供や保護者、学校の教職員、地域の関係者と相対、連携できる人間性や社会性、コミュニケーション力

とともに地域との協働力、ICT 機器を活用した指導力やデータ活用力等の新たな学校教育活動に取り組む基礎基盤となる力を全般的に有する教員

地域の社会経済、学校教育の課題や特色を理解し、小規模校(複式学級指導等)、義務教育学校、中高一貫校等での教育活動を担える力や地域のイノベーションの担い手となる児童生徒の成長を支援できる教員

教育の特色

地域の教員の量的ニーズ、小中学校の小規模化・小中一貫教育の増加に対応した教員養成、複数免許取得奨励

総合大学としての強みを活かし、地域の学校教育が求める理数系、データサイエンス、地域協働等に強い教員の輩出

地域教育文化学部で培った成果を地域が求める共創人材の育成で活用し、実践的カリキュラムを構築

入学定員の移行

(令和7年4月)

学部・学科	入学定員
【人文社会科学部】	280
人文社会科学科	280
【地域教育文化学部】	165
地域教育文化学科	165
児童教育コース	(75)
文化創生コース	(90)
【理学部】	200
理学科	200
【社会共創デジタル学環】	30
【医学部】	165
医学科	105
看護学科	60
【工学部】	650
高分子・有機材料工学科	140
化学・バイオ工学科	140
情報・エレクトロニクス学科	150
機械システム工学科	140
建築・デザイン学科	30
システム創成工学科	50
【農学部】	165
食料生命環境学科	165
合計	1,655



(令和8年4月～)

学部・学科	入学定員
【人文社会科学部】	280
人文社会科学科	280
【教育学部】	165
学校教育教員養成課程	120
地域教育共創課程(仮称)	45
【理学部】	200
理学科	200
【社会共創デジタル学環】	30
【医学部】	165
医学科	105
看護学科	60
【工学部】	650
高分子・有機材料工学科	140
化学・バイオ工学科	140
情報・エレクトロニクス学科	150
機械システム工学科	140
建築・デザイン学科	30
システム創成工学科	50
【農学部】	165
食料生命環境学科	165
合計	1,655

※本表では、社会共創デジタル学環の定員は、関係協力学部(人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部)の外数で記載している

今後のスケジュール

本構想については、今後さらに具体化を図り、随時、本学ホームページで情報発信していきます。

＜新組織設置までのスケジュール＞

- 令和7年3～4月 文部科学省に新組織設置の届出
- 6～8月頃 文部科学省から結果伝達
- 7～9月頃 学生募集要項公表
- 秋～冬 入学試験
- 令和8年4月 教育学部の開設

＜留意事項＞

本構想は、文部科学省と協議中のものであり未確定です。今後さらに協議を重ねて具体化を図り、来年度に文部科学省 大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。

構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。